

県内外のパフォーマーや音楽家が路上で公演する「路上演劇祭Japan in浜松2024」(実行委員会主催、静岡新聞社・静岡放送後援)がこのほど、浜松市中央区のアルコモール有楽街で開かれた。15個人・団体が出演し、多彩な表現で観客を魅了した。

「旅する有楽街」がテーマ。出演者は約280名の道を「舞台」に、思い思いにパフォーマンスした。

静岡文化芸術大の学生団体「出張お芝居!ぷちまり」の友人を探す旅に出るアヒルの物語や、東京を拠点に活動するURARAさんの新聞紙を体に巻いた踊りなど、個性豊かな劇の数々が披露され、観客から大きな拍手が起きた。

## 有楽街舞台に演劇披露 中央区多彩な表現観客魅了



パフォーマンスを行う出演者―浜松市中央区

実行委の里見のぞみ代表は「好きなように感じてもらい、何か新たな発見があれば」と話した。